

ちやうすやま
茶臼山 293.9m (群馬県桐生市)

日時：令和5年(2023年)12月29日(金)日帰り 晴れ 【個人】 提出者>岩田
メンバー： 岩田 合計 1名

行程：電車 ⇒⇒9:39阿左美

徒歩 9:45 S 阿左美^{あざみ}駅出発 標高125m→9:53荒神山登山口122m→→10:16~22荒神山^{こうじんやま}
215m→→10:39黒石^{てらのいりやま}峠215m→→10:44寺ノ入山241m→→11:04姥沢ノ頭^{うばさわのあたま}272m→→11:20~12:11茶臼^{ちやうす}
山^{やま}(3等三角点) ▲293.96m→→12:21姥沢ノ頭→→12:35八王子山268m→→姥沢峠→→12:45水^{もみやま}
道山268m→→12:49姥沢峠(八王子峠)247m→→13:03根元山270m→→13:16^{もみやま}榎山峠189m→→13:23
南公園156m→→→→→13:50~14:25彦部家住宅(戦国時代の豪族の屋敷・重要文化財)
→→→→→14:30 G 広沢町五丁目集会所前バス停82m 行動時間4時間45分
バス・電車 14:43広沢町五丁目集会所前バス停⇒“おりひめバス”⇒14:59新桐生駅

感想：茶臼山は東武桐生線の車窓から見える八王子丘陵(広沢丘陵)にあり、この丘陵の最高峰となっている。最初と最後に多少急な所もあるが、概してなだらかな山道でのんびりとハイキングを楽しむことができた。

茶臼山は標高は低いが展望が良く360度のパノラマを満喫した。山頂には大きな電波塔が建っている。三等三角点の近くにセンダンの木が黄褐色の小さい果実をいっぱいつけていた。

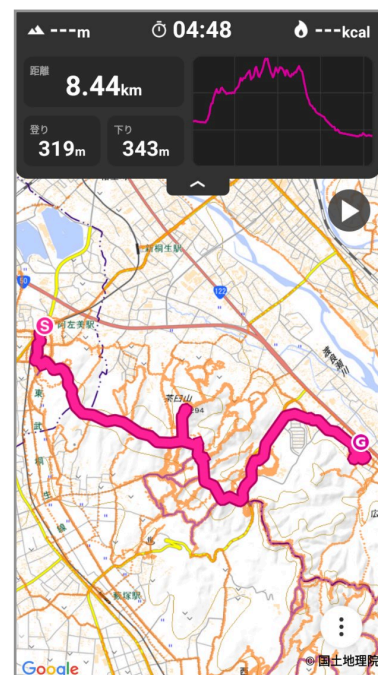
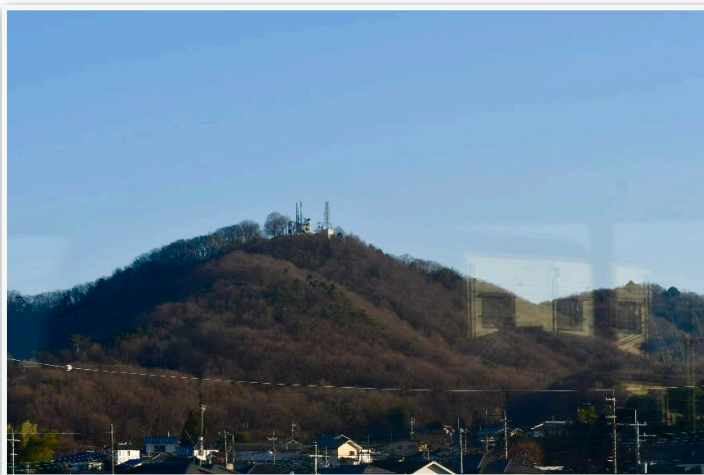
最後に寄った彦部家住宅は戦国時代の豪族の屋敷構えを今に残し重要文化財となっている。平日は開館日ではないが、ご主人が内部を案内してくださった。広大な屋敷地には主屋、長屋門、冬住み、文庫倉、穀倉が建っている。この五棟のほかに敷地2万6百平方メートルも重要文化財に指定されている。

『スローハイク足桐五弾としの暮れ』 『センダンの果実鈴なり宙おおう』

『豪族の夢るまここに春を待つ』

データ・軌跡図

車窓から見る茶臼山(新桐生駅~阿左美駅間)



桐生ボートレース場と赤城山



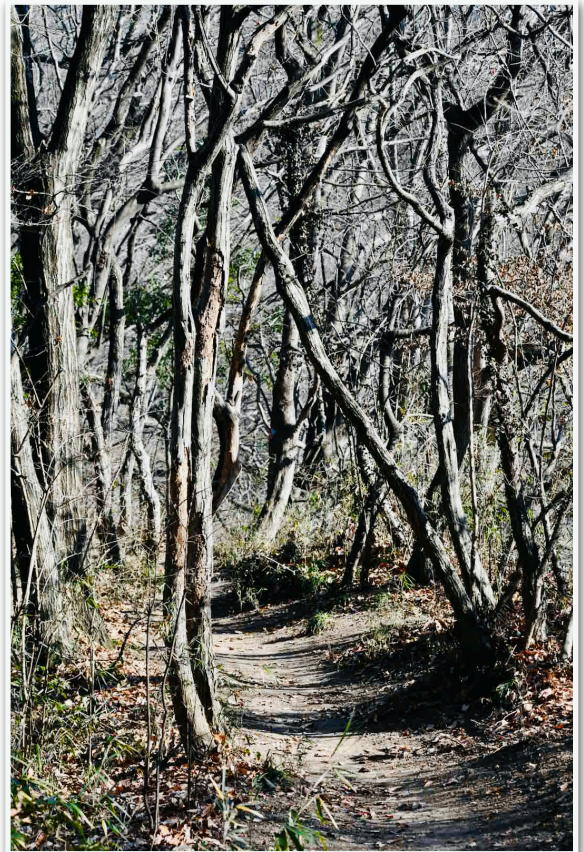
桐生市街と吾妻山



山頂のセンダン



コナラの道



彦部家の長屋門



主屋



冬住みの瓦に源氏の“左三つ巴”の家紋がある



新桐生駅のステンドグラス

